

寄附金控除を受ける方の記載例

給与所得について年末調整を受けた方で、寄附金控除を受ける場合

【第一表】

※ この記載例の申告書は、パソコンを利用して「確定申告書等作成コーナー」で作成したものです。

手順1
7ページ
参照

〇〇 税務部長
30年 2月 16日 平成 29 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書 A FA0113

住所 (又は居所)	XXX-XXXX 〇〇市△△町X-X-X-X	個人番号	XXXXXXXXXXXX
フリガナ	コクセ イ タロウ	氏名	国税 太郎
性別	男	世帯主の氏名	国税 太郎
生年月日	3 49 11 16	世帯主との納税 本人	
平成30年 1月1日 の住所	同上	電話番号	03-XXXX-XXXX

マイナンバー
(個人番号)を
記入する必要
があります。

明治・「1」
大正・「2」
昭和・「3」
平成・「4」

手順2
8ページ
参照

収入金額等	給与	7140000	税 配 当 控 除 の 計 算 の そ の 他	課税される所得金額	2441000
	公的年金等			上の②に対する税額	146600
	その他			配当控除	
	配当一時			所得税及び復興特別所得税の 源泉徴収税額	169500
所得金額	給与	5226000		所得税及び復興特別所得税の 納める税金	0
	雑			申告期限までに 納付する金額	0
	配当			延納届出額	0
	合計	5226000			
所得から差し引かれる金額	社会保険料控除			還付される税金がある方のみ記入します。	
	小規模企業共済等掛金控除				
	生命保険料控除				
	地震保険料控除				
	寡婦・寡夫控除	0000			
	勤労学生・障害者控除	0000			
	配偶者(特別)控除	0000			
	扶養控除	0000			
	基礎控除	0000			
	⑥から⑬までの計	2589196			
雑損控除					
医療費控除					
寄附金控除	195000				
合計	2784196				

手順3
11ページ
参照

手順4
20ページ
参照

手順5
24ページ
参照

手順5
24ページ
参照

○ 記載手順については、この記載例で示している「平成29年分 所得税及び復興特別所得税の確定申告の手引き 確定申告書A用」の該当ページを参照してください。

- ◎ 申告書は複写式になっています。申告書第一表と第二表を折りたたんだまま記入せず、広げるか、中央のミシン線で切り離してから、黒いインクのボールペンで、強く記入します。
- ◎ 2枚目は複写式の控えになっていますが、取り外して使用しても差し支えありません。申告書を提出するときは、2枚目は取り外してください。
- マス目に数字を記入する場合は、記入例①にになって、マス目の中に丁寧に記入してください。
- 1億円以上の金額がある場合は、記入例②にになって記入してください。
- 訂正する場合は、記入例③にになって、訂正する文字を二重線で抹消し、上の欄などの余白に適宜記入してください。

記入例① 縦線1本 すきまをあける 上に突き抜ける 角をつくる 閉じる

記入例②

記入例③

【第二表】

(寄附先の住所地・名称・金額)	
① ○○県 (ふるさと納税)	100,000 円
② ○○市 (ふるさと納税)	60,000 円
③ 住所地の日本赤十字支部	37,000 円
合計	197,000 円

※ 記載例中における社会保険料の金額は、実際の金額とは異なります。

手順1
7ページ
参照

手順2
8ページ
参照

手順4
23ページ
参照

手順6
25ページ
参照

平成29年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書A

住所 ○○市△△町X-X X-X

フリガナ コクセイ タロウ
氏名 国税 太郎

所得の内訳 (所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額)			
所得の種類	種目・所得の生ずる場所又は給与などの支払者の氏名・名称	収入金額	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
給与	○○株式会社 ○○部課長	7,140,000 円	169,500 円
⑬ 所得の合計			169,500 円

雑所得 (公的年金等以外)・配当所得・一時所得に関する事項			
所得の種類	種目・所得の生ずる場所	収入金額	必要経費等

○ 住民税に関する事項

扶養親族の氏名 続柄 生年月日 別居の場合の住所
 国税 二郎 * 平21-06-01

扶養親族の氏名 続柄 生年月日 別居の場合の住所
 個人番号 XXXXXXXXXXXXXXX

給与・公的年金等に係る所得以外 (平成30年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外の所得に係る住民税の徴収方法の選択) 給与から差引き 自分で納付

配当に関する住民税の特例
 非居住者の特例
 配当割額控除額

寄附金 額 寄附先 寄附金
 160,000 額 指定分 市区町村
 37,000 額 市区町村

FA0067

○ 所得から差し引かれる金額に関する事項

⑥ 社会保険の種類 支払保険料 ⑦ 掛金の種類 支払掛金
 社会保険料控除 小規模企業共済等掛金控除
 合計

⑧ 新生命保険料の計 旧生命保険料の計
 新個人年金保険料の計 旧個人年金保険料の計
 介護医療保険料の計

⑨ 地震保険料の計 旧長期損害保険料の計

⑩ 配偶者の氏名 生年月日 配偶者控除 配偶者特別控除
 明・大 昭・平

⑪ 扶養親族の氏名 続柄 生年月日 控除額
 明・大 昭・平

⑫ 雑損控除 損害の原因 損害年月日 損害を受けた資産の種類など
 損害金額 保険金などで補填される金額 差引損失のうち災害関連支出の金額

⑬ 医療費控除 支払医療費等 保険金などで補填される金額

⑭ 寄附金控除 寄附先の所在地・名称 寄附金
 ○○県 日本赤十字社ほか 197,000

○ 特別適用条文等

第二表平成29年分(2017年)の確定申告書A(普通)は第2表(普通)と一緒にご提出ください。○源泉徴収税額が0円の場合は、源泉徴収税額欄に0と記入してください。○扶養親族の氏名・住所は、扶養親族の氏名・住所欄に記入してください。

手順3
19ページ
参照

控除対象配偶者や扶養親族などのマイナンバー (個人番号) も記入する必要があります。
 なお、還付申告の方で、申告する所得が年末調整を受けた給与所得のみの場合で、配偶者 (特別) 控除や扶養控除に異動がないときは、第二表の⑫~⑭欄のマイナンバー (個人番号) の記入を省略できます。

(参考) 給与所得の源泉徴収票

平成29年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所 〇〇市△△町×-××-×	(受給者番号)													
		(役職名)													
		氏名	(フリガナ) コクセイ タロウ	国税 太郎											
種別	支払金額	給与所得控除後の金額			所得控除の額の合計額			源泉徴収額							
給与・賞与	円 7 140 000	円 5 226 000	円 2 589 196	円 169 500											
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)			16歳未満扶養親族の数	障害者の数 (本人を除く。)			非居住者である親族の数						
有 証者	老人	特定	老人	その他	人	特別	その他	人	人	人	人	人	人	人	人
○		1			1										
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額			地震保険料の控除額			住宅借入金等特別控除の額							
円 1,073	円 196	円 105	円 000	円 21	円 000										
(摘要)															
生命保険料の会費の内訳	新生命保険料の金額	円 25,000	円 35,000	円 90,000	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
住宅借入金等特別控除の額の概要	住宅借入金等特別控除の金額	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
控除対象配偶者	(フリガナ) コクセイ リョウコ	氏名	国税 良子	区分	配偶者の合計所得	国民年金保険料等の金額	円	円	円	円	円	円	円	円	円
控除対象扶養親族	(フリガナ) コクセイ イチロウ	氏名	国税 一郎	区分	16歳未満の扶養親族	(フリガナ) コクセイ ジロウ	氏名	国税 二郎	区分	(備考)					
	(フリガナ)	氏名		区分		(フリガナ)	氏名		区分						
	(フリガナ)	氏名		区分		(フリガナ)	氏名		区分						
	(フリガナ)	氏名		区分		(フリガナ)	氏名		区分						
未成年者	外国人	死亡退職者	災害者	乙	本人が障害者	養育者	その他	養育者	養育者	養育者	養育者	養育者	養育者	養育者	養育者
中途就・退職	就職	退職	年	月	日	明	大	延	平	年	月	日			
			29						○	49	11	16			
支払者	住所(居所)又は所在地	〇〇区〇〇 ×-××-×													
	氏名又は名称	〇〇産業株式会社 (電話) ××-××××-××××													

【ご注意】

◎ 支払者から受領した「給与所得の源泉徴収票 (原本)」を添付書類台紙に貼って提出しなければなりません。